

BZ17-049 次世代の食品容器用シール技術

提案提出期限

- 2017年8月31日



依頼企業の概要

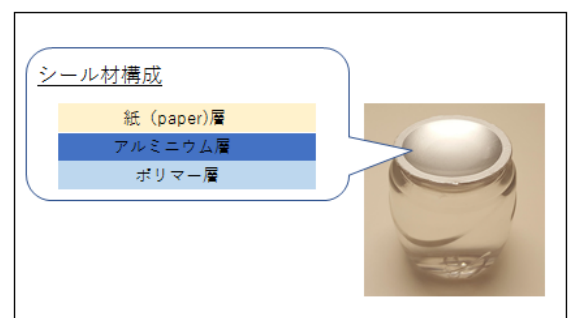
- PepsiCo**
- <http://www.pepsico.com/>
- 世界2位の食品・飲料会社。ペプシコーラ、トロピカーナをはじめとして、世界200か国以上で22のブランドを展開している。
- 売上：約7兆円 (2016年)

提案者にとっての機会 (協業形態)

<input type="radio"/>	部材供給
	受託加工
<input type="radio"/>	技術ライセンス
	受託開発
<input type="radio"/>	その他 (応相談)

求める技術とその背景

- 食品・飲料用インダクションシーリング技術に適用可能な、新規技術を求めています。
 - 特に、食品容器 (ガラス製・プラスチック製) リサイクル時の汚染 (金属片の残存) を防止する技術の提案に期待しています
- インダクションシーリングは、従来のコンダクションシーリングやヒートシーリング技術と比較して、電磁誘導加熱(IH)を用いることにより、容器を非接触にて密閉できること、加工エネルギーが小さいなどのメリットがあり、10年以上製品製造に用いられています。
 - シール材構成：右図
 - ◇ ポリマー層
 - ◇ アルミニウム層
 - ◇ 紙 (ペーパー) 層
- シール方法
 - ポリマー・アルミ層をIHヒーターにより接着し、密閉：こぼれ、偽装、汚染の防止
 - ◇ ポリマー層がのりとして作用
 - 紙層は別途接着
- 現行のインダクションシーリングでは、使用後の食品容器リサイクル時にアルミ等の金属部分が残存することにより、リサイクルが出来なくなっています。



想定している用途

- 食品容器用シーリング

開発スケジュール

- 技術の達成度により異なります

対象とするアプローチ例（下記に限らない）

例えば以下のような様々な材料技術に特に期待しています。

- アルミホイル層を不要とする、新規なインダクションシーリング用ポリマー材料
 - リサイクル時に残存しない、新規アルミホイル代替インダクションシーリング材料
- 上記のような特徴を有する材料の内、以下のような生産工程に導入できる技術の提案を特に歓迎します
- 押し出し成型やコーティングによりフィルム化できること、または、樹脂中に添加することで複合化できること
 - 通常のシーリング方法により製作できるように、シーラント層に熱を伝導すること
 - PET, PP のような樹脂のリサイクル工程において悪影響を及ぼさないこと

対象外のアプローチ例

- シーリング技術と関係のない技術

留意点

- 英語の会社説明資料、英語表記の HP アドレス、もしあれば英語の技術資料も添えてご提案下さい。



BIZ SAITAMA の概要、提案方法はこちらの URL をご覧ください
http://biz-saitama.jp/exhibition_entry.html

【事務局】

- BIZ SAITAMA 実行委員会事務局：さいたま市産業創造財団
<http://www.sozo-saitama.or.jp/>
- 商談会に関するサポート：株式会社ナインシグマ・ジャパン
<http://www.ninesigma.co.jp/>

【問い合わせ窓口】

- メール：biz-sai9@sozo-saitama.or.jp
- 電話：03-3219-2006（ナインシグマ・ジャパン：BIZ SAITAMA 担当宛）